

鵬



岩手県立盛岡第三高等学校同窓会事務局
〒020-0114 岩手県盛岡市高松四丁目17-16
TEL 019-661-1735 FAX 019-661-1221

同窓会報 2018

●発行 平成30年9月7日

体育祭 (6月19~21日)



高総体開会式 (6月22日)



文化祭 (9月1~2日)

岩手県立盛岡第三高等学校

鵬同窓会総会懇親会

平成30年 **10月27日** (土)

ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

総会 17:30 懇親会 18:30

会費 4,000円 (学生2,000円)

〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通 2-27 TEL 019-625-1211

当日、受付で申し受けます。

- 参加申し込みは **10月17日(水)** までをお願いします。
- 懇親会は、クラス会や部活動のOB会としてもご利用下さい。お友達同士、お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。
- 総会、懇親会の参加申し込みはQRコードまたは、メールアドレス ootorisoukai2018@gmail.com よりメールにてお願いいたします。本文にご氏名(〇〇回生)と「総会のみ参加、懇親会のみ参加、総会懇親会参加」のいずれか一つをご記入下さい。



夏の高校野球甲子園大会が100回を迎えることから、地元の岩手日報が過去の名勝負を連載した。三高は昭和48年と平成元年に甲子園に出場している。初めて出場した昭和48年の55回大会は、「さわやか旋風」として三回戦まで進むことができた。その三回戦の高知商業との様子を、今59・60歳になった当時の選手が詳しく語っている。スタンドから応援していただけでは分からない、選手の一挙手一投足が物語のようにまとめられている。試合に臨んだ選手たちは大変であったと思うが、応援する側も大変であったようだ。初めてのことで、出場経験のある高校から聞くなどして、寄付集めなどをスタートさせたが、創立して11年目で卒業生が若く、また少なかったこともあり、大変苦労したと聞いている。事務局では、市内を16地区に区分して、名簿を頼りに募金活動を進め、その後、岩手・紫波郡にまで足を延ばしお願いに歩いている。また、若い学校であるからと出身校を越えて多くの市民・県民の方々から寄付を頂いている。

今年、初戦が県営球場ということで久しぶりに行った。いつもは花巻などの球場のために行くことができなかったからである。試合は154キロの相手投手の前にホームランで得点するも、残念ながら敗れた。当日、在校生の応援団の脇に、たぶん父母会の方々であろう緑のポロシャツの団がいた。応援するそのシャツの背中に「鴻鵠之



同窓会長
泉山良男

二つの校訓

志」(コウコクノココロザシ)の四文字が見えた。これは、平成14年の三高創立40周年を記念して、在校生の皆さんによって制定された二つ目の校訓である。羽ばたく鴻(オオトリ)が持つ「遠大な大志」という意味で、向上一路の精神で理想を追い求め続ける気高い志のことである(学校HPより)。一つ目の校訓は初代校長の阿部寿一先生が掲げた「随処為主」である。付和雷同せず、主体性を持って生きなさいという「臨済録」の教えである。

残念ながら、甲子園出場という一つの「志」は達成することができなかった。しかし、これからの人生の中では、いろいろな「志」を追い求めていくことに変わりはない。二つ目の校訓も立派に定着していると感じた日でもあった。



校長
中島 新

変わるものがない 「さわやかさ」

同窓会の皆様には、日頃から母校の教育活動にご支援、ご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。今年4月から校長として本校にお世話になっております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校30年史(平成4年10月発行)を紐解くと、その巻頭で、山影源吉校長と泉山良男同窓会長、そして竹花千奈津生徒会長が、「将来展望に立って三高の在り方を語る」と題した鼎談を行っていて、三高の草創期からその当時の状況をはじめ、三高の未来を展望し、それぞれの立場から意見交換を行っています。その時代から今日まで、50周年記念事業(平成24年10月)等を経て、四半世紀が経過したことになりますが、その鼎談を読むと、当時と比較して現在も変わることなく続いていることや、今は少し変わったのかなと感じられることなど、さまざまなことが読み取れて興味深く感じました。

例えば、生徒会長の竹花さんは、「本当は、みんな今

遊びたいと思いますよ。そういう年代かもしれません。でもやはりそれをコントロールして頑張っていかなければならないということが大事なのだと思います。それを怠ってしまうと、自分の弱い心を否応なしに感じますからね。最後は自分との戦いになると思います。」と語っています。竹花さんのこの言葉は、三高3年生である自分が置かれた状況を実に客観的かつ厳しく正確に捉えていると感じさせましたし、こうした姿勢は、諸活動や進路実現において高いレベルを目指す三高生にとって、在学中のどこかの段階で必ず求められる姿勢であり、それは、今も昔も、そして今後も変わるものがない三高生の「在り方」なのだろうと思います。同時に、厳しく自身を律している中にあるの明るさのことを、もしかしたら「さわやか」と言うのかもしれないということをこの言葉は示唆してくれています。

そんなことを考えつつ、三高の今はと言いますと、まず、中学生やその保護者にとっては、三高への入学が大きな夢となっていると言っても過言ではない状況です。そして、在校生に対しては、今後も一層、「夢を叶える学校」であり続ける必要があります。また、私も教職員にとっては、生徒の成長を通して大きな夢を抱ける学校であり、これを教職員のモチベーションにしていきたいと考えています。最後に、同窓生の皆様に対しては、卒業後も何かしらの夢と希望を与えることのできる学校であり続けたいと考えておりますので、今後ともどうか同窓会の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

「イスタンブールにて」

北山 恵美子 (19回生)



イスタンブール市内のホテルで友人との会合

同世代なら誰しもが知っている庄野真代のヒット曲『飛んでイスタンブール』。当時“ザ・ベストテン（木曜9時に放映されていた歌番組）”で、庄野真代がイスタンブールの旧市街と新市街を結ぶガラタ橋上から生中継で歌っていたのを覚えている。それから約40年過ぎた今、イスタンブールに住み、そのガラタ橋は自宅から歩いて行ける距離だ。この街が好きで、飛んで来てしまったのは20歳台後半。7年間滞在し、帰国した。帰国後はトルコ大使館で働いた。英語を教えたいという夢を叶える為、アメリカの大学の日本校に通い、TESOL（英語を母国語としない人に英語を教える資格）を取得したのは42歳。千葉県船橋市の中学校で、講師として教科書のないリスニング・スピーキング中心の授業を行った。気が付くと、帰国してから12年の歳月が過ぎていた。

どうしてもトルコの魅力が忘れられず、トルコに戻ると決めたのが2012年2月。決断をすると物事が動き始める様で、ご縁が重なってトルコでの就職先が決まり、イスタンブール行き片道フライトのフリーチケットを手にした。こうして2012年5月、トルコで骨を埋める覚悟でイスタンブールに戻って来た。格好良く言うと、全てを捨ててのゼロからのスタートだった。この時、既に40歳台後半、若気の至りとは言えない歳になっていた。振り返ってみると、先の事を全く考えず、不安も抱かなかったのも不思議だが、ただトルコに戻って来たいという強い気持ちが自分の背中を押していた。先ずは決断すること。決断すると物事が動き出す。自らの一歩で行動を起こす。そうすると、周りも応援してくれる。どんな小さな一歩であっても、少しずつ道が見えてくる。まずは、躊躇せず動く。強く熱い気持ちが周囲をも動かし、道が開けるというのは本当だと思う。

さて、話をトルコに戻す。日々想定外のハプニングが起り、良く言うと、とても刺激的な暮らしをしている。当初勤めたトルコの会社では、トルコ人社長の気まぐれで、急に会社を辞めさせられた。取り決めていた給料は貰えず、たまに顔を見せる社長に「お金はあるか？」と聞かれ、「ない」というと、お小遣い程度のお金を渡された。何とも嘘の様な話だが、事実である。滞在許可を取って貰ったという恩義から、何も言えずにいたら、ある日、いきなり怒り出し、今すぐ出ていけと言われた。

いきなり失業し、さて、これからどうしようと思っていた矢先、日本の鉄鋼商社で仕事が見つかった。これも、知人からの口コミの仕事情報だった。電話の発明者であるグラハム・ベルが残した『When one door closes, another opens』この言葉が、自分の中でストンと落ちた。

トルコに戻って来てからここ数年、国自体も全く別な意味で刺激的な事態を経験している。2013年、イスタンブール新市街の中心地タキシム広場で、不当な公園の樹木伐採を阻止しようと市民団体が座り込みで抗議を始めたことに対し、当局が催涙弾で弾圧したことから発した騒動は、想定外な事態へと発展した。市民団体の抗議

運動だったはずが、いつの間にか反政府運動と呼ばれ、テロリストかのような弾圧を受けた。この衝突の様子は世界にも発信された。自宅が近かった為、窓を開けていると、催涙弾の煙で目が痛くなることもしばしばだった。テロリストでもない普通の市民団体の市民を催涙弾で弾圧しようとしたそのやり方に憤慨した市民が反政府運動を起こしたとして、刑務所に入れられた。ツイッターやFacebookで情報を流したとして、追跡、家宅捜査を受け、そのまま刑務所入りになった市民や学生も多くいた。ツイッターは政府によりブロックされ、一時期、アクセス不通となった。

2016年のクーデター未遂事件では、戦闘機が低空飛行をし、あちこちで窓ガラスが割れている音がした。戦争でも起こったのかと思うほどの物凄い轟音で、真面目に怖かった。テレビをつけると、日本が造った橋で戦闘車と素手の一般市民が戦っていた。このクーデター未遂事件では、事件直後、岩手日報から電話取材を受け、原稿も送付し、生の情報を提供した。この事件も色々、その後の続き話があり、その話の方が何ともえげつない話で面白いのだが、ここでは、割愛する。

最近では、テロ騒動もなく、平穏な日々に戻っている。トルコは危険というイメージの払拭に努めているが、なかなかイメージを変えることは難しい。ひと昔前までは、道で「こんにちは」と声をかけられたが、今は「ニーハオ」と声をかけられる様になり、時代も変わったものだと複雑な心境になる。

怖い経験をしながらも、なぜ、トルコがいいのかと聞かれる。一言で言うと“トルコ人の泥臭さ、人間臭さ”。喜怒哀楽を隠すことなく、表現するところ。愛情表現も半端ではなく、感情を押し込めず、はっきりと表現するので非常に分かりやすい。意見の相違では、一見喧嘩しているように見えるが、後を引くこともなく、すぐケロッとしている。杓子定規ではなく、情にもろい。ただ、嫌われると全く無視されるので、これまた分かりやすい。トルコ人は誰とでも仲良くという性格ではないので、そっちが嫌っているんだったら、こっちは…と開き直るので、ストレスがない。日本の様に皆と仲良くやりましょう主義では、どうしても無理があるし、疲れる。

そして、こちらが恐縮する程、親切で寛容で優しい。トルコ人の温かさに触れてしまうと、世界どこに行ってもトルコが恋しくなる。

私は、イスタンブールでトルコと日本を繋ぐ架け橋として、今後も活動を続けていくつもりです。少しでもトルコに興味を持っていただけるきっかけとなれたら、とても嬉しいです。個人的にメールでのお問合せも大歓迎です。

2018

部活動

報告

平成30年度

<運動部>

陸上競技部

●高総体

▼男子

100m 第4位 藤澤 晟
(東北大会出場)

▼女子

2000m SC 第5位 渡辺早紀
5000m競歩 第2位 相原歩果
(東北大会出場)

5000m競歩 第8位 田村花のん
4×100mR 第7位 土樋奏乃子・畠山瑠
莉・栃内清花・前田桃華
走高跳 第4位 栃内清花
(東北大会出場)

走幅跳 第6位 佐々木莉生
走幅跳 第1位 前田桃華
(東北大会出場)

●平成30年度東北高等学校選手権大会

▼男子

100m 準決勝進出 藤澤 晟

▼女子

走幅跳 第1位 前田桃華

5000m競歩 第9位 相原歩果

走高跳 第15位 栃内清花

●第45回東北総合体育大会

▼女子

走幅跳 第6位 前田桃華

走高跳 大会出場 栃内清花

●平成30年度全国高等学校総合体育大会

▼女子

走幅跳 第22位 前田桃華

新体操部

●高総体

個人

種目別フープ 第2位 柳田ほたる 第3位 田井萌香

種目別ボール

第2位 柳田ほたる 第3位 田井萌香

個人総合

第2位 柳田ほたる 第3位 田井萌香
(東北大会出場)

団体

第2位 盛岡第三 (東北大会出場)

●平成30年度東北高等学校選手権大会

個人

種目別フープ

第4位 柳田ほたる

第16位 田井萌香

種目別ボール

第7位 柳田ほたる

第14位 田井萌香

個人総合

第6位 柳田ほたる

第16位 田井萌香

団体 第7位 盛岡第三

バレーボール部

●高総体

▼男子

1回戦 盛岡第三 2-0 千厩

2回戦 盛岡第三 1-2 花巻東

▼女子

1回戦 盛岡第三 2-0 花巻農業

2回戦 盛岡第三 2-0 専大北上

3回戦 盛岡第三 2-0 花巻東

準々決勝 盛岡第三 0-2 盛岡誠桜

※優秀選手 戸田百音

バスケットボール部

●高総体

▼男子

3回戦 盛岡第三 79-37 宮古商
4回戦 盛岡第三 94-51 釜石
準々決勝 盛岡第三 107-89 盛岡市立
準決勝 盛岡第三 55-99 一関工
(東北大会出場)

※優秀選手 宮野考生

▼女子

3回戦 盛岡第三 65-78 盛岡第一

●第73回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会兼第54回NHK杯大会

▼男子

1回戦 盛岡第三 56-117 福島南

卓球部

●高総体

▼男子

団体

1回戦 盛岡第三 1-4 福岡工業

個人シングルス

1回戦 及川友亜 3-1 水沢工業

2回戦 及川友亜 0-3 花巻北

1回戦 鈴木雄大 3-0 水沢工業

2回戦 鈴木雄大 3-1 一関工業

3回戦 鈴木雄大 0-3 花北青雲

▼女子

団体

2回戦 盛岡第三 1-3 花北青雲

個人ダブルス

1回戦 斉藤・岡組 1-3 水沢商業

バドミントン部

●高総体

▼男子

団体

2回戦 盛岡第三 1-3 千厩

個人ダブルス 1回戦敗退 安藤・森田組

個人シングルス

1回戦敗退 安藤泰地・森田 樹

▼女子

団体 ベスト16

2回戦 盛岡第三 3-0 久慈東

3回戦 盛岡第三 0-3 北上翔南

個人ダブルス 2回戦敗退 猪口・鷹羽組

個人シングルス

2回戦敗退 鷹羽里奈

1回戦敗退 猪口佳果

弓道部

●高総体

▼男子

団体予選40射16中 予選敗退

▼女子

団体予選40射15中 予選敗退

個人戦 阿部知恵 8射2中 予選敗退

空手道

●高総体

▼女子

個人形

第3位 乙部真優子 (東北大会出場)

個人組手

格矢 夏紀 3回戦敗退 ※ベスト8

乙部真優子 2回戦敗退

熊谷菜々美 1回戦敗退

団体組手

1回戦 盛岡第三 1-4 不来方

●平成30年度東北高等学校選手権大会

▼女子

個人形 乙部真優子

1回戦 5-0

2回戦 0-5 (東北ベスト16)

剣道部

●高総体

個人戦

1回戦敗退 千葉諒祐・須藤悠介

2回戦敗退 小原澄士・大澤遥人・宇美颯人

団体戦

予選リーグ 盛岡第三 1-2 水沢

盛岡第三 0-5 花北

0勝2敗により予選リーグ敗退

▼女子

個人戦

1回戦敗退 藤村日南花

2回戦敗退 石井菜月

3回戦敗退 林崎菜月 ※ベスト32

3回戦敗退 長岩希子 ※ベスト32

団体戦

予選リーグ 盛岡第三 4-0 金ヶ崎

盛岡第三 2-3 久慈

1勝1敗により予選リーグ敗退

水泳部

●高総体

▼男子

100m自由形 第3位 関田光陽・田中陽紀

200m自由形 第1位 田中陽紀

100m背泳ぎ 第3位 勝山大暉

200mバタフライ 第8位 大庭寛樹

200m個人メドレー 第4位 遠藤祐太郎

400m個人メドレー 第4位 遠藤祐太郎

400mフリーリレー 第3位 関田光陽・

田中陽紀・遠藤祐太郎・勝山大暉

800mフリーリレー 第3位 関田光陽・

田中陽紀・遠藤祐太郎・勝山大暉

400mメドレーリレー 第3位 関田光陽・

田中陽紀・遠藤祐太郎・勝山大暉

▼女子

50m自由形 第4位 熊谷菜那

100m自由形 第7位 熊谷菜那

100m平泳ぎ 第1位 東條真奈

200m平泳ぎ 第1位 東條真奈

100mバタフライ 第8位 佐藤りん

200mバタフライ 第6位 佐藤りん

200m個人メドレー 第6位 村上碧衣

400m個人メドレー 第3位 村上碧衣

第6位 三尾夏奈子

400mフリーリレー 第3位 東條真奈、

熊谷菜那、佐藤りん、村上碧衣

800mフリーリレー 第5位 東條真奈、

熊谷菜那、佐藤りん、村上碧衣

400mメドレーリレー 第3位 村上碧衣、

東條真奈、佐藤りん、熊谷菜那
(以上全て東北大会出場)

●第66回東北高等学校選手権水泳競技大会

▼男子

200m背泳ぎ 第6位 勝山大暉

800mフリーリレー 第8位 勝山大暉、

田中陽紀、遠藤祐太郎、関田光陽

▼女子

100m平泳ぎ 第5位 東條真奈

200m平泳ぎ 第6位 東條真奈
(全国大会出場)

●平成30年度全国高等学校総合体育大会

水泳競技大会

▼女子

200m平泳ぎ 第48位 東條真奈

サッカー部

●高総体

1回戦 盛岡第三 3-1 花巻南

2回戦 盛岡第三 0-5 遠野

ラグビー部

●高総体

Bブロック

1回戦 盛岡第三 22-54 花巻東

敗者戦 盛岡第三 12-7 一関工

ハンドボール部

●高総体

▼男子

第3位

2回戦 盛岡第三 31-21 盛岡市立

準々決勝 盛岡第三 27-25 盛岡第一

延長(2-0 4-4)

準決勝 盛岡第三 17-22 盛岡南

※優秀選手 浅沼信也

※工藤颯馬 H30国民体育大会ハンドボ

ール競技少年男子(若手選抜)に選出

▼女子

1回戦 盛岡第三 20-28 盛岡第二

ソフトテニス部

●高総体

▼男子

団体 ベスト8

2回戦 盛岡第三 3-0 宮古

3回戦 盛岡第三 2-0 盛岡市立

準々決勝 盛岡第三 0-2 黒沢尻北

個人

田村駿也・伊藤夕夏 3回戦敗退

※ベスト32

菊池慎太郎・飛澤宗太 3回戦敗退

※ベスト32

学校ホームページお知らせ 生徒の活動等詳しくはHPをご覧ください。 <http://www2.iwate-ed.jp/mo3-h/>

田中成樹・逢坂将志 2回戦敗退
菅原駿哉・三上真心 2回戦敗退

▼女子
団体 ベスト8
1回戦 盛岡第三 2-1 水沢商業
2回戦 盛岡第三 2-0 盛岡中央
3回戦 盛岡第三 2-0 岩泉
準々決勝 盛岡第三 0-2 高田
個人
佐藤夏樹・上方こもも 1回戦敗退
穂元桜菜・泉田陽菜 2回戦敗退
小橋有咲・佐々木絢音 4回戦敗退
※ベスト16

テニス部

●高総体
▼男子
ベスト8
1回戦 盛岡第三 3-0 盛岡工業
2回戦 盛岡第三 1-2 一関高専
個人戦シングルス 伊東俊輔、蟹沢川荘、
竹内遼真 2回戦敗退
大出俊友 1回戦敗退
個人戦ダブルス
第3位 竹内遼真・大出俊友
(東北大会出場)
蟹沢川荘・伊東俊輔 1回戦敗退

▼女子
団体 第3位
団体戦
2回戦 盛岡第三 3-0 盛岡南
準決勝 盛岡第三 1-2 盛岡第四
順位決定戦 盛岡第三 1-2 盛岡第一
(東北大会出場)
個人戦シングルス
第3位 高橋優実 (東北大会出場)
伊藤 蒼、阿部茉穂莉 ※ベスト16
1回戦敗退
中村有里、佐々木恵、山根里々花
個人戦ダブルス
第3位 中村有里・佐々木恵
(東北大会出場)
高橋優実・伊藤 蒼、阿部茉穂莉・山根
里々花 ※ベスト8
菊池絢子・島田青依 ※ベスト16

●平成30年度東北高等学校選手権大会
▼男子
個人戦ダブルス 竹内遼真・大出俊友
1回戦敗退 ※ベスト16

▼女子
団体戦 ベスト16
1回戦 盛岡第三 1-2
聖霊短大付 (秋田)
個人戦シングルス 高橋優実 1回戦敗退
※ベスト32
個人戦ダブルス 中村有里・佐々木恵
1回戦敗退 ※ベスト16

ボート部

●高総体
▼男子
シングルスカル
佐々木響未 敗者復活戦敗退
ダブルスカル
細越 怜・横田 涼 敗者復活戦敗退
舵手付きクォドルプル 第2位
木越健太・柞山 開・加藤 寛・
須藤穂高・村上賢吾 (東北大会出場)

▼女子
ダブルスカル 第2位 齊藤羽那・八重樫
鈴音 (東北大会出場)
舵手付きクォドルプル
第2位 佐々木麻里奈・中川奈穂・
金崎琴音・坂井田奈菜・島 奈穂
(東北大会出場)

●平成30年度東北高等学校選手権大会
▼男子
舵手付きクォドルプル
第9位 木越健太・柞山 開・加藤 寛
須藤穂高・村上賢吾

▼女子
ダブルスカル
第8位 齊藤羽那・八重樫鈴音
舵手付きクォドルプル
佐々木麻里奈・中川奈穂
金崎琴音・坂井田奈菜・島 奈穂
準決勝敗退

野球部

●第65回春季東北地区高等学校野球選手権大会
【盛岡地区予選】
1回戦 盛岡第三 13-3 盛岡南
(5回コールド)
2回戦 盛岡第三 11-1 盛岡北
(6回コールド)
準決勝 盛岡第三 2-1 盛岡工
決勝 盛岡第三 5-2 盛岡大附
【岩手県春季大会】 ※ベスト4
1回戦 盛岡第三 16-9 大東
(7回コールド)
2回戦 盛岡第三 2-0 一関第一
準々決勝 盛岡第三 8-0 花巻北
(7回コールド)
準決勝 盛岡第三 5-10 専大北上
3位決定戦 盛岡第三 1-7 盛岡中央

<文化部>

書道部

●第16回岩手県高等学校書道作品コンクール
奨励賞 石川綾花、桃李真由美、山中花菜、
館澤智子
●岩手日報書展
日報大賞 館澤智子
秀逸賞 山中花菜 北方美緒
入選 中館真萌 渡辺紗矢佳
北條菜美 桃李真由美
石川綾花 舟越麻衣
高橋真子 中森理子
新里明莉 三島奈緒 欠端友唯

●2018産経ジュニア書道コンクール
高校生の部

平成29年度 全国大会の報告

<運動部>

陸上競技部

●第56回全日本50km競歩高島大会
女子 5km 第8位 相原 歩果

新体操部

●全国高等学校総合体育大会
個人総合
第37位 藤田 日和
(フープ43位 リボン36位)
団体 盛岡第三 第31位

空手道

●全国高等学校総合体育大会
女子 形 乙部真優子 1回戦敗退

水泳部

●インターハイ
女子
100m 平泳ぎ 36位/53人 東條 真奈

ボート部

●第65回全日本高等学校選手権ボート大会
女子
シングルスカル
坂井田奈菜 敗者復活戦 敗退
ダブルスカル
岡本 夏佳・齊藤 綾乃 準々決勝出
場
●第29回全国高等学校選抜ボート大会
男子
ダブルスカル
柞山 開・加藤 寛 19位/24クルー中

スキー部

●第67回全国高等学校総合体育大会
男子
ジャイアントスラローム 53位 吉田 匠吾
スラローム 30位 吉田 匠吾
女子
クラシカル 34位 森 冬姫子
フリー 46位 森 冬姫子

●第30回全国高等学校選抜スキー大会
女子
スプリント 予選敗退 森 冬姫子

産経新聞社賞 北條菜美
奨励賞 中館真萌
●第19回高校生国際美術展 書道部門
奨励賞 桃李真由美 渡辺紗矢佳
佳作 石川綾花 高橋春咲 中館真萌
北條菜美 山中花菜 館澤智子

囲碁将棋部

●第40回岩手県高等学校将棋大会
団体 B級 第2位
(上野浩聖・小野寺俊亮・山本凱也)
●第17回岩手県高文連将棋竜王戦
個人 B級 1位 佐藤 悠太

吹奏楽部

●平成30年度全日本吹奏楽コンクール
盛岡地区大会 金賞 (県大会出場)
岩手県大会 金賞 (東北大会出場)
東北大会 銀賞

<委員会>

視聴覚委員会

●第65回NHK杯全国高校放送コンテスト
岩手県大会
・テレビドキュメント部門
『桜の陰の「武士」』
優良賞 (全国大会出場)
・アナウンス部門
優良賞 金子奈々花 (全国大会出場)
入選 高林 真佑

クラシカル(5km) 32位 森 冬姫子
フリー(10km) 34位 森 冬姫子
男子
ジャイアントスラローム 30位 吉田 匠吾
●第73回国民体育大会冬季大会スキー競技
にいがた妙高はなうま団体
男子
ジャイアントスラローム DNF 吉田 匠吾
女子
クラシカル 62位 森 冬姫子

スケート同好会

●第67回全国高等学校総合体育大会
男子1000m 18位 山口 知己
1500m 18位 山口 知己
●第73回国民体育大会冬季大会
少年男子
1000m 山口 知己 予選敗退
1500m 山口 知己 予選敗退
2000mリレー 山口 知己 第3位
●第41回ジュニアスピードスケート選手権大会
男子1000m 23位 山口 知己
1500m 25位 山口 知己
男子マスタート 第5位 山口 知己

<文化部>

文芸部

●第32回全国高等学校文芸コンクール
【文芸誌部門】
最優秀賞・文部科学大臣賞
【小説部門】
最優秀賞・文部科学大臣賞 佐藤 風花
優良賞 太田 彩季
【詩部門】
優良賞 太田 彩季
入選 吉田 悠乃 大志田愛理
【短歌部門】
入選 菊池 絢子
●第8回文芸誌甲子園
(富士正晴全国高等学校文芸誌賞)
【文芸誌賞】 優秀賞
【全国高校生文学賞】奨励賞 田鎖 寛都

視聴覚委員会

●第64回NHK杯全国高校放送コンテスト
・テレビドキュメント部門
『FLY』 準々決勝まで

母校支援 寄付のお礼

平成25年度より会員の皆様に新たな寄付をお願いしております。今年度も多くの皆様から多大なご厚情を賜り、誠にありがとうございます。今年度は、皆様から頂いた寄付の中から、50万円を母校の春季合宿費用として、30万円をSSHの後継事業であるSRH事業の運営費として支援させて頂きました。お陰様で、本年度の高総体では、陸上部・水泳部のインターハイ出場を筆頭に、男子ハンドボール部・男子バスケットボール部・女子テニス部・新体操部が県上位入賞を果たしました。また、2年理数探究コース生徒が県内外で課題研究成果を発表、希望者が物理チャレンジ・数学オリンピック等の科学オリンピックへ挑戦することができました。

今後も引き続き、次期周年事業にかかる資金の計画的な積立を行いながら、母校生徒の諸活動の充実に向け支援をしていく所存であります。今後とも、本趣旨に対し何分のご配慮を賜り、会員の皆様のご助力を頂ければ幸いです。

末筆ながら、会員の皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

同窓会会長 泉山 良男

同窓会役員名簿

会 長	泉 山 良 男	2 回 生
副 会 長	滝 村 民 明	1 回 生
	山 内 隆 文	5 回 生
	平 井 滋	8 回 生
理 事	藤 原 誠 司	13 回 生
	増 澤 ひかり	3 回 生
	小 綿 明	7 回 生
	藤 原 誠 徳	9 回 生
	村 田 達 彦	13 回 生
	及 川 正 樹	15 回 生
	伊 勢 志 穂	16 回 生
	佐 藤 直	16 回 生
	菅 昌 明	17 回 生
	小笠原 啓 助	21 回 生
	袴 田 恭 司	24 回 生
	馬 場 暁 彦	24 回 生
	深 田 真 弓	40 回 生
監 事	横 澤 忠	2 回 生
	藤 田 光 孝	3 回 生
関東支部会長	工 藤 康 寛	9 回 生
事務局 長	蒲 生 秀 磨	19 回 生
事務局 次 長	辺 明 進	31 回 生
事務局 員	高 橋 麻 美 子	36 回 生
	藤 澤 仁 美	38 回 生
	佐々木 一 生	49 回 生
	佐々木 玄	49 回 生
副 校 長	鈴 木 裕	17 回 生

事務局より

日頃より、会員の皆様には同窓会活動に対しご理解とご支援をいただきありがとうございます。

今回の同窓会報も、名簿管理をしている株式会社サラトの住所データを利用し、約13,000人の同窓生の皆様に発送しております。本校に転居等の連絡があった場合、サラトに連絡し常に情報を更新しておりますが、転居などにより、「宛先不明」で戻ってくる会報も多くあります。住所の変更や個人情報の削除などにつきましては、事務局にご連絡いただければ幸いです。

今年度も、同窓生の皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

住所変更のご連絡方法

住所等の変更があった場合は盛岡三高ホームページのフォームによりご連絡頂くようお願いいたします。

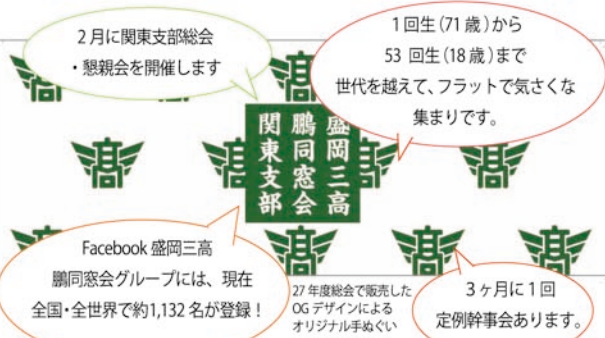
- 手順 1 ホームページトップから「PTA・同窓会」をクリック
- 手順 2 鵬同窓会の「住所変更の連絡について」をクリック
- 手順 3 鵬同窓会 代表メールアドレス をクリック
- 手順 4 内容を打ち込み「送信」をクリック

ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

▼ 関東支部

「盛岡三高 鵬同窓会関東支部」 をご紹介します。

鵬同窓会関東支部は関東在住の有志によって運営されています。今年の6月17日（日）には、この春、進学や就職、転勤などで関東方面へ来られた方の「新人歓迎会」を開きました。新卒者16名を含む総勢36名のとても楽しいランチ会となりました。関東支部では様々な部会（ゴルフ、音楽など）が自由に活動しています。また毎年恒例の総会・懇親会は2019年2月2日（土）に開催します。関東支部ホームページ、Facebook、Twitterなどでもお知らせいたします。なお、各部会や総会・懇親会への参加は、関東以外にお住まいの方でもご参加いただけます。



盛岡三高鵬同窓会関東支部ホームページオフィシャルサイト：
<http://moriokasankou.com/>

「鵬 同窓会関東支部」への登録の仕方
Mail = sanko.kanto.ohtori@gmail.com に空メールを送ってください。折り返し、確認のメールが届きます。
または、Facebook「盛岡三高 鵬同窓会グループ（参加者のみ閲覧できる非公開グループ）」に参加申請してください。
関東支部事務局：畑山勝浩（はたやま かつひろ・21回生）
携帯=080 5408 7924



2018.2.10 関東支部総会・懇親会。104名の参加。

2018.6.17 新人歓迎会。総勢36名。東京グリーンパレス。

2017.11.21 ゴルフ部会。サンメンパースカントリークラブ。



2018.2.10 音楽部会 関東支部総会・懇親会ライブ。



4回生の集い

平成30年6月30日、きのえね本店（盛岡市大通）にて4回生の同期会が開催されました。今年は高校卒業後50年の節目の年。恩師であられる菊地雅裕先生、高橋薫先生もお招きし、30名が集まりました。4回生の同期会は毎年7月頃に開催されています。規模は様々ですが、今回で30回目くらいではないかと幹事長の葛巻さんは語っています。菊地先生の指揮で校歌斉唱もあり、盛会でした。



11回生の集い

平成30年1月7日、クィーンズフォンテ盛岡にて11回生の同期会が開催されました。恩師であられる太田原弘先生、高橋薫先生もお招きし、56名が集まりました。11回生の同期会は久しく開催してありませんでしたが、11回生である山形守平先生が平成28、29年度に盛岡第三高校の校長を務められた事をきっかけに、昨年1月に引き続き2年連続で企画されました。懐かしい面々に会い、昔話に花が咲いた楽しい会となりました。今後も定期的に同期会を開催しようと約束し、散会しました。

